

令和8年 3月

ふるさと創造部 総合政策課

子ども向け市勢要覧「知っつつこお？丹波市ハンドブック」の発行について

1 目的

ふるさと丹波市への愛着を育み、市民が誇りをもって「帰ってこいよ」と言えるまちづくりにつなげるためには、子どもたちがまちの魅力を知り、子どもたち自身がまちの魅力を伝えられることが大切です。

丹波市の豊かな自然や特産品など丹波市の魅力を学ぶとともに、世界に一つだけのオリジナルハンドブックをつくることで、ふるさと丹波市に対する誇りと愛着を育みます。

2 発行のきっかけ

市内の子どもたちが社会見学で市役所を訪れた際に丹波市を紹介できる資料は、市勢要覧をはじめとする大人向けのものがほとんどでした。「子どもたちにもわかりやすい子ども向け冊子を配りたい」との思いから、令和5年2月に「知っつつこお？丹波市ハンドブック」を発行しました。

3 コンセプト

「自分だけのオリジナルハンドブックをつくり、丹波市への誇りと愛着を育む」

このハンドブックは、社会科学習の副読本の追加資料としてだけでなく、丹波市について学ぶ「ふるさと学」などの際の教材としても役立てられるよう、市勢要覧的要素と教育的要素の両方を取り入れています。

また、随所に気づきと深い学びを誘うさまざまな仕掛けをしており、「自分だけの1冊」を完成させるまでの過程を楽しみながら丹波市について広く学べる教材として、小学校や特別支援学校で活用いただいています。

4 ハンドブックの特徴

1)「みんなちがってみんないい」オリジナルハンドブック

このハンドブックは、写真を貼ったりマップに色を塗ったり、調べたことや学んだことを書き込んだりする仕掛けが随所にあります。児童によって、写真の貼り方や書き込んだ内容が異なるので、学びながら世界に一つだけのオリジナルハンドブックをつくることができます。

2)「学びたい」「知りたい」をサポート

記事にホームページの二次元コードを掲載することで、冊子では紹介しきれなかった情報にすぐにアクセスでき、児童の「もっと知りたい」気持ちをサポートします。また、各ページの下部にはクイズを掲載し、クイズを解く楽しさと、解くための調べ学習の要素を取り入れています。

5 「限られた時間で楽しく学ぶ」ためシールシートに変更(第3版)

- 1) 従来は、写真などを点線に沿って自分で切り取り、マップに貼ってオリジナルマップをつくる仕様でしたが、「切り貼りに時間がかかる」「ハンドブックを切り抜くことで保管がむずかしくなる」とのご意見があったことから、今年度からシールシート(A5版)に変更しました。「シールを貼る」工程を楽しみながら、空いた時間でしっかりと学んでほしいと考えています。
- 2) 従来は白地図でしたが、オリジナルマップページを1ページに移動し、表紙には、丹波市の魅力や課題を学べる「丹波市オリジナルボードゲームTMK」のマップデータを元にしたイラストを掲載しました。「高校生がつくる丹波の未来への架け橋プロジェクト」メンバーや市民の方々が協力して制作された「TMK」に親しむ機会になればと考えています。

6 配布先

印刷製本版…市内小学3年生(希望校)、氷上特別支援学校、庁舎見学者など
デジタル版…ホームページに掲載

7 発行部数

令和5年2月	初版第1刷発行	1,200部
令和6年1月	第2版発行	600部
令和7年3月	第3版発行	600部
令和8年3月	第4版発行	700部